

竹の絵の具作り実験その①

2022.07.29 天気：曇りのち雨 気温：29℃ /25℃

材料：

竹の剪定枝1.2kg

ミョウバン5g

重曹11g

水12L

石灰11g

剪定バサミ 1 丁

鍋 2 個以上あると便利

保存用の容器 4 つほど

乳鉢&乳棒1 セット

フィルターと布（濾過器）（こす用）



1.
竹から枝を切り落とし、それをさらに細かく切っていく。



2.
切った枝を 5cm ほどの幅に切っていく。



3.
鍋に水 13L と剪定枝を入れ、中火にかける。1 時間 30 分煮る。



4.
余分な葉を出す。



5.
こす用に、空の鍋、あみ、さらしを用意し、セットする。



6.
鍋の中身をあげる。残った葉は捨てる。
(煮立ったため、液体量は9Lになっていた。)



7.
ミョウバン:80gを入れ、かき混ぜる。



8.

重曹：90gを入れる。写真のような化学反応が起きる。(泡が一気に登ってくるので、新聞紙などの上でやると良い)



9.

軽くかき混ぜ、反応がおさまるのを待つ。



10.

顔料 1 人分の工程 (一気に作りたい場合は 17 までスキップ) :

鍋底から (←重要) 中身をすくい、ビンに入れる。内容物が分離し、沈殿するのを待つ。



11.

一晩おいたもの。内容物が分離し、沈殿が見られる。(急いでいる場合は、1 時間の放置で次の工程に移っても良い。)



12.
コーヒードリッパーを空のビンに設置し、中にコーヒーフィルターを二枚重ねてセットする。



13.
内容物が混ざらないように気をつけながら、液体の入っているビンの上澄みの透明な液体を破棄する。(スポイトなどを用いても良い)



14.
残った内容物をフィルターをセットしたビンに流し入れる。



15.
ドリップし終わるのを待つ。
コーヒーフィルターに顔料部分が残
り、ビンに余分な水分が落ちる。
(1時間ほどかかる)。



16.

水分が抜け、コーヒーフィルターに顔料部分のみ残ったら、フィルターを破って開き、平たい状態で乾燥させる。
(この量で1日ほど)



17.

一気に作るための工程：
空の鍋に網→さらし→和紙2枚をかさねる。



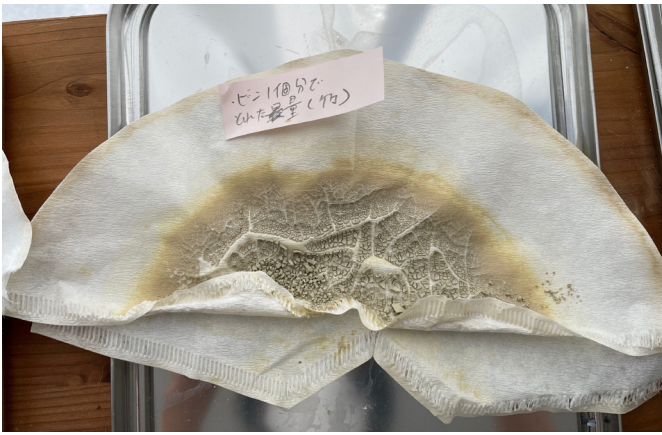
18.

内容物をながしこむ。



19.

水分が抜け、乾燥するまで放置。
(1週間ほど)



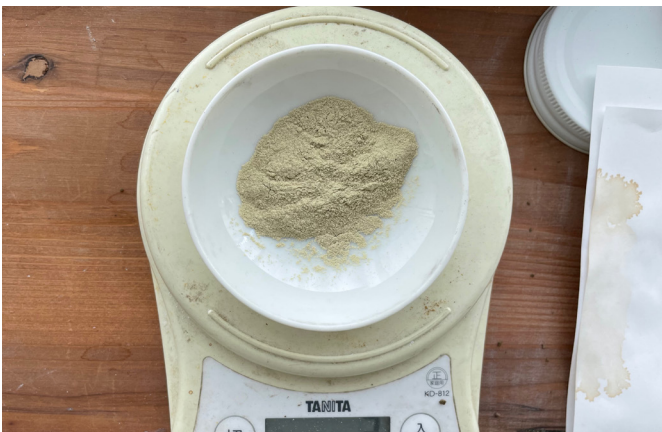
20.
乾燥後。
(写真は2日後)



21.
多い方乾燥後。
(完全に乾燥するまで2週間ほど)



22.
乾燥したものを乳鉢に入れ、すりつぶし、粉末化する。



23.
取れた分量→
1人用：2g
多い方：108g